

北海道立野幌総合運動公園に係る煙突用断熱材について

野幌総合運動公園総合体育館施設の煙突内で断熱材（アスベスト含む）の劣化・損傷が確認されました。

平成28年11月22日に実施した総繊維濃度測定では、屋内では繊維状物質は検出されておりません。また体育館周辺の屋外での気中濃度は0.23（本/l）で、この気中濃度の数値は十分低く、安全と考えております。（注 参照）

なお、当該煙突断熱材の除去工事については緊急的に実施する予定ですが、当面、週1回程度の定期的な気中濃度測定を行うなど、監視を強化しながら、施設の使用を継続いたします。

また、気中濃度測定の結果及び工事実施の予定等については、随時公表して参ります。

注)

○ WHOの環境保健クライテリア

アスベストには環境基準はありませんが、世界の都市部の一般環境中のアスベスト濃度は、1～10本/l程度であり、この程度であれば健康リスクは検出できないほど低いとされている。

* 環境保健クライテリアとは、世界保健機構（WHO）などが実施している国際科学物質安全性計画の活動の一つで、化学物質が人の健康や環境へ与える影響についての専門家による評価をまとめたもの。

○大気汚染防止法に基づく石綿製品製造工場に対する敷地境界基準

10本/l

お問合せ先

空知総合振興局札幌建設管理部維持管理課 011-561-0409

北海道建設部まちづくり局都市環境課公園緑地グループ 011-204-5571